

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 2 区分
【発行日】 令和 5 年 11 月 8 日 (2023.11.8)

【公開番号】 特開 2023-126855 (P2023-126855A)
【公開日】 令和 5 年 9 月 12 日 (2023.9.12)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2023-172
【出願番号】 特願 2023-106346 (P2023-106346)
【国際特許分類】

H 0 1 S 5/02208(2021.01)

10

H 0 1 S 5/02345(2021.01)

H 0 1 S 5/0233(2021.01)

H 0 1 S 5/0239(2021.01)

【F I】

H 0 1 S 5/02208

H 0 1 S 5/02345

H 0 1 S 5/0233

H 0 1 S 5/0239

【手続補正書】

20

【提出日】 令和 5 年 10 月 30 日 (2023.10.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板と、

第 1 発光素子と、第 2 発光素子と、前記第 1 発光素子と第 2 発光素子の間に配置される第 3 発光素子と、を含む複数の発光素子と、
前記第 1 発光素子から出射される光を反射する反射面を有し、前記第 1 発光素子から第 1 方向に離れた位置に配置される光学部品と、

30

前記光学部品よりも前記第 1 方向と反対の方向に離れた位置に設けられる 3 以上の保護素子と、

前記複数の発光素子、前記光学部品、及び前記 3 以上の保護素子を囲う側壁と、を有し、
前記基板は、前記光学部品が配置された第 1 面よりも高い位置にある第 2 面を有する第 1 段差部と、前記光学部品が配置された第 1 面よりも高い位置にある第 3 面を有する第 2 段差部と、を備え、

前記第 1 段差部と前記第 2 段差部は、前記第 1 方向と交差する方向において対向するように、前記側壁のうち対向する 2 つの側壁とそれぞれ接して配置されており、
前記第 2 面及び前記第 3 面に、前記発光素子及び前記保護素子と電氣的に接続される配線が設けられている、光源装置。

40

【請求項 2】

前記発光素子と前記配線は、ワイヤにより接続されている、請求項 1 に記載の光源装置。

【請求項 3】

前記基板はセラミック材料である、請求項 1 または 2 に記載の光源装置。

【請求項 4】

前記光学部材はシリコンである、請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の光源装置。

【請求項 5】

50

前記発光素子がレーザダイオードである、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の光源装置。

【請求項 6】

前記第 1 発光素子は青色波長域の光を出射する発光素子であり、前記第 2 発光素子は緑色波長域の光を出射する発光素子である、請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の光源装置。

【請求項 7】

前記配線が、前記発光素子の載置面よりも高い位置に配置されている、請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の光源装置。

10

20

30

40

50